

## 盛況

ふるさと館オープン  
第2回産業まつり

6、7ページを  
ごらんください

# まぐろ

'79

# 11

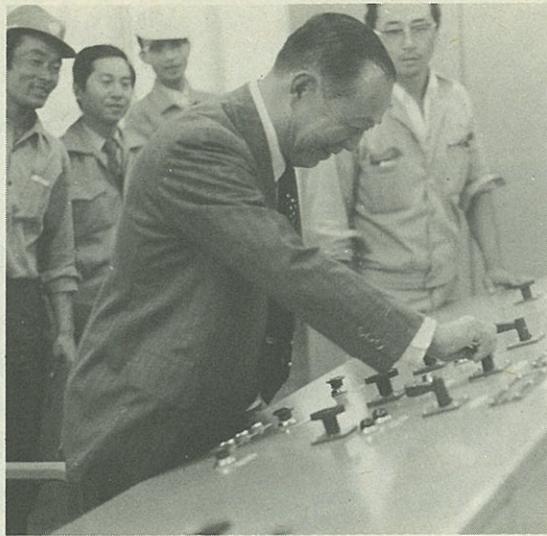
334

●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555)4-2111  
●編集・町民課広報広聴係 ☎内線111 ●印刷・ソーゴ印刷

# 永年の夢が実現

国営新川地区直轄明渠排水事業は去る昭和四十九年から進められていたが、この事業の一部である「新川排水機場」が完成し、九月二十一日に喜びの通水式を開催しました。事業着手から完成まで五年の歳月を経過しましたが、水の害に悩まされ続けていた新川、明野地区の方々にとっては永年の悲願達成といえましょう。

新川地区の大半と明野地区の一部は、十勝川に沿った平坦な耕地ですが、そのほとんどが泥炭地です。排水不良の過湿地。このため降雨時には畑に湛水し、特に十勝川に堤防が出来てからは水の流れ出るどころがなくなり、昭和二十五年から実施した暗渠も埋り、その都度、多額な費用をかけて改修のくりかえしでした。



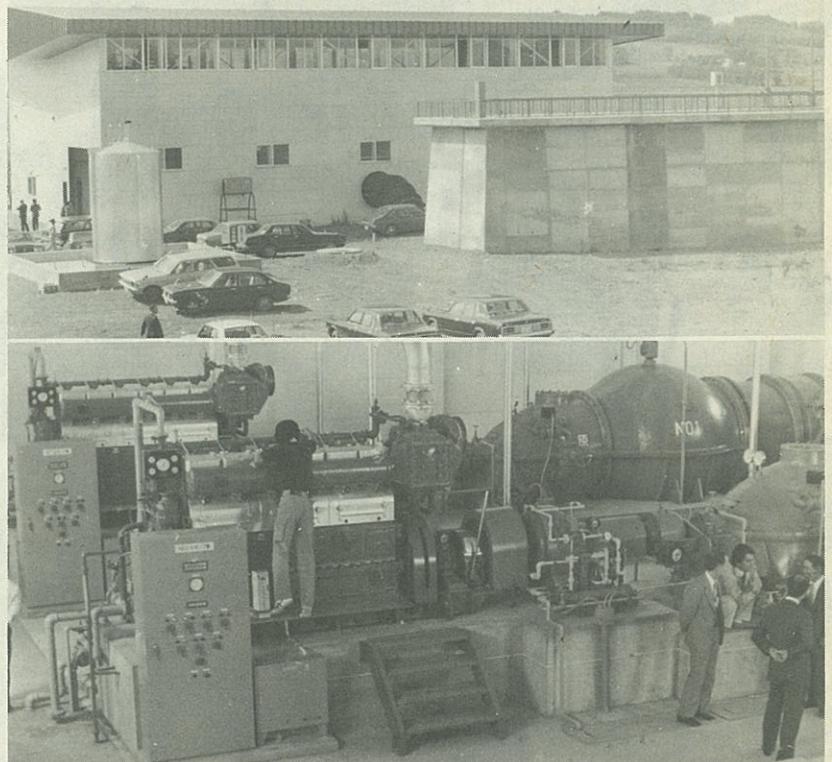
スイッチを押す大石町長

昭和二十九年、三十年、三十一年と水害が続き、その都度多くの被害があつたため、この水害は国が堤防を造つたためであると、一部の農民から「国で耕地を買ってほしい」と要求したこともあり、町でも問題解決のため排水路工事など、いろいろ

手をつくしましたが解決策にはなりませんでした。新川、明野地区の水の害は、その後も毎年のように発生、特に昭和三十七年には台風九号の影響で八月二日から四日朝にかけて降つた百ミをこす雨と上流のダム放水のため十勝川沿いの耕地は全滅、三十九年六月、八月の大雨でも多くの被害を受けました。

昭和四十七年五月二十日の町議会に、新川公区長の進藤次郎さんと明野南公区長の東原武夫さんがそれぞれの地区民を代表して排水路改修工事を陳情しましたが、この年の九月、またもや台風二十号による二日連続の大雨で、全町で二千九百三拾の耕地が被害を受け、新川、明野地区では最低一〇%、最高七〇%の耕地が全滅しました。

その後、他町村の実情視察の帰途、期成会長の八十島宗平さんがバスの中で急死するというハプニングがあり、これらの運動が捻つて、昭和四十九年から国営新川地区直轄明渠排水事業が着手されました。現期成会長の進藤次郎さんは二代目。



排水機場の全景(上)と内部

## 総事業費は

### 二十三億一千万円

この事業は、降雨のたびの湛水被害を解消するため幹線排水路を整備して耕地の乾畑化を図り、同時に地区内に排水機場を設置しようというもので、この受益面積は千七百六十四拾、受益戸数は百四十二戸。

工事費は昭和四十九年から五十二年までに五億八千五百万円、昭和五十四年だけで三億五千万円を投じて工事をすすめ、一部の排水路と五百六十七平方メートルの鉄骨平屋一部二階建の排水機場が完成しました。

この排水機場内には排水ポンプ二基が据つけられ、昭和五十五年度には予備のポンプ一基が設けられることになっており、このポンプ一基の排水能力は一分間に三百四十リットルを排水することが出来、しかも降雨などで一定の水位に達すると自動的に作動し排水することになっていきます。

通水式では大石町長がスイッチを押すや、巨大なポンプが一斉に作動し、排水路の水が急いよく十勝川に流れ出しました。

なお、この事業は今後も続けられ、総ての事業が完了するのは昭和五十八年。総事業費は二十三億一千万円になる予定です。

# 秋播小麦の防除は適期に

朝夕めっきり寒くなり、秋の取り入れも終りに近づきました。春から連載してしました「農作業」は今月号で終了しますが、今年最後の農作業として秋播小麦の防除について、お知らせします。なお、来年の営農計画は冬のうちに樹てるようにしましう。

## 秋播小麦雪腐病の適期防除

秋播小麦の減収要因として最も大きなものは雪腐病による枯死です。本町で発生がみられるものとしては「褐色小粒菌核病」、「黒色小麦菌核病」、「大粒菌核病」、「紅色雪腐病」があります。

■小粒菌核病―根雪が早く積雪の多い年

で土壤凍結が少なく、九月の降水量が多い年に発生します。

■大粒菌核病―積雪量が少なく、土壤凍結のはなはだしい年に発生します。

■紅色雪腐病―春に発生した胞子が飛散し、出穂から収穫期にかけて降水量の多い年に採種した種子を播種するとまん延します。

防除はP C P水溶剤百倍、トップジンM水和剤二千倍を混合して十一月中旬に第一回目を散布します。トップジンM水和剤は大粒菌核病と紅色雪腐病に、P C P水溶剤は小粒菌核病に効果があります。

第一回目の防除後に三十三ミリの降雨があつた場合には根雪直前までにトップジン

ンM水和剤のみを再散布します。なお、降雪が早く、積雪量が十センチ以内であれば雪中散布も一応の手段として実施するとよいでしょう。

## 穀類の種子更新と保管

種子は更新せずに使用しますと数年で退化したり種子感染病害にかかったりして減収の要因となりますので、できるだけ新しいものに取りかえましょう。種子として使用する穀類は十分に乾燥したものを新しいカマスや麻袋などに入れ、直射日光が当たらない湿度の低い場所に保存し、冬の間

に選別して使用します。

## 堆肥の切り返し作業

堆肥は腐熟の進んだ良質のものを使用しますが、腐熟を進めるためには切り返

しをおこないましょう。切り返しにはフロントローダーを用いると効率的です。腐熟の進まない原料が入っている場合は硫安または石灰窒素を添加します。切り返し後に十分に水を補給し、半月程度おきに三〜四回くり返しましょう。

## 営農の反省と来年度の計画

今年の営農をふり返り、作付割合、施肥量、農薬の適期使用など適切な栽培管理によって満足する収穫をあげられたか、減収になった要因は何かをよく理解し、来年の計画をより綿密に樹てましょう。まだ経営簿の記入もれなども点検して未収入、未払金を整理するとともに、収支決算をおこなう資産台帳、貸借対照表なども、きちんと整理して来年の営農計画の参考にするようにしてください。

# サイロのガスによる事故防止

サイロ内に原料を詰めこむと炭酸ガスや二酸化窒素ガスなど人体、家畜にとって有害なガスが発生します。特に詰めこみ直後や追い詰めのためにサイロ内に入るときは注意する必要があります。

炭酸ガスは空気よりも重いため常にサイレージの表面近くに停滞しており、知らずに炭酸ガスの充満したサイロ内に入ると頭痛やはき気、呼吸困難を引き起しはなはだしいときは窒息死することもあります。

二酸化窒素ガスは胸をつくような刺激臭のあるガスで、ごく少量でも中毒を起こします。このガスが発生する原因は原料中に含まれる硝酸がサイロ内に残った酸素と結合するため、このガスも空気より重いので排汁の中に含まれていることあるので注意しましょう。

以上のようなサイロのガス事故を防ぐために次のような事に注意しましょう。

■サイロに入る前に必ずブローワー15〜20分以上運転しサイロ内に外気を送り込むと同時に、サイレージ表面近くの取出口を開放して内部に充満したガスを完全に排出する。

■サイレージの表面近くの空気の色に注意し、もし黄色や赤褐色の気体が停滞していたら、これを排出してから入るようにしてください。

■サイロの中で作業中にノドが痛くなったり咳が出るような場合は、ただちにサイロの外に出て医師の指示を仰ぐことが重要です。

# 農業機械の整備と格納

今年所有している機械の活用が十分に出来たでしょうか。これから冬に向けて整備保管を十分におこない、来春もスムーズに農作業を開始出来るようにしましょう。

まず、機械に付着している夾雑物の除去と洗浄をおこないましょう。特に収穫機は汚れがひどく、出来るだけ丁寧におこない、外部から清掃が困難な場所は分解しておこないましょう。次にボルト、ナットの切損欠落、破損か所、ベルト、チェーンの張りや損傷の有無を点検します。部品を交換する際は必ず規格にあったものを使用してください。

トラクターは通年使用されるようになりましたが、冬季間使用しないトラクターや自走機械は次の点を守って保管しましょう。

■冷却水を抜き、排気口や吸気口から湿気が入らないようにする。 ■燃料は燃料タンクばかりでなく燃料系統から完全に抜き取ります。 ■バッテリーは取りはずし冷暗所におきます。 ■格納庫ではタイヤを浮かして置きましょう。

# 衆議の投票率は83・60%

## 無効投票が多かった国審

衆議院議員総選挙と最高裁判所

裁判官国民審査の投票が十月七日に実施されました。今回は出足が悪く、前回執行の選挙より投票率は低下しました。以下は町選挙管理委員会発表の投票結果をお知らせいたします。

本町の有権者数は前回（昭和五十一年）より約千人多い一万三千八百八十七人ですが、有権者の出足は悪く、衆議の投票率は八三・六〇%、国審は八一・〇五%で、前回の選挙より三・九%、三・三%下回りました。

農作業のあい間に一票を投ずる皆さん(中里)



### 衆議院議員選挙

衆議院議員選挙の投票率は前回より下回りましたが、別表のように第二十一投票所（新和公民館）の九七・六七%を最高に十二の投票所が九〇%をこえています。

なお、投票総数は一万千六百九票、うち有効投票一万五千五百六十二票、無効票

四十七票で、棄権した方は二千二百七十八人でした。各候補の得票数は次の通りです。

カッコ内は前回の得票数。

安田貴六 二百票（五十五票）

★新村源雄 五千三百三十二票

（美濃六千三百五十票）

★本名 武 千三百六十一票（千

八百十四票）

★岡田利春 二百七十四票（二百

六十票）

★島田琢郎 五十四票（五十五票）

### 開票風景

★芝田重郎太 六百六十三票（水

落七百四十五票）

中川一郎 三千六百七十八票

（千八百十六票）

### 国民審査

国民審査の投票

総数は一万二千二百

五十六票、うち有

効投票一万七百七十六票、無効投票

千六十六票、持ちかえり十四票。

この無効投票は全体の九・四八%

棄権者は二千六百三十一人でした。

なお、裁判官のすべての罷色を

可としないもの（白紙）は全体の

六七・二五%にあたる七千五百六

十票、全員の罷免を可とするもの

（×）は二二・〇二%（千三百五

十一票）でした。



衆議院議員選挙							
投票所	有権者数			投票率			計
	男	女	計	男	女	計	
1 幕別町役場	737	818	1,555	82.77	81.66	82.19	
2 青少年会館	480	530	1,010	86.04	79.62	82.67	
3 鉄南近隣センター	385	425	810	81.82	78.82	80.25	
4 旭町近隣センター	530	557	1,087	86.42	85.82	86.11	
5 新川近隣センター	49	51	100	93.88	92.16	93.00	
6 大豊近隣センター	35	37	72	97.14	97.30	97.22	
7 軍岡会館	60	64	124	98.33	95.31	96.77	
8 猿別近隣センター	58	62	120	87.93	90.32	89.17	
9 相川小学校	139	137	276	84.89	89.78	87.32	
10 千住西近隣センター	87	95	182	87.36	84.21	85.71	
11 稲志別近隣センター	82	70	152	93.90	85.71	90.13	
12 札内福祉センター	980	1,036	2,016	80.92	84.85	82.94	
13 あかしや近隣センター	789	887	1,676	80.48	79.48	79.95	
14 あかしや南近隣センター	558	611	1,169	82.26	83.14	82.72	
15 新北近隣センター	655	698	1,353	73.44	74.50	73.98	
16 途別公民館	131	145	276	90.84	91.72	91.30	
17 日新公民館	88	87	175	89.77	81.61	85.71	
18 古舞公民館	117	122	239	91.45	93.44	92.47	
19 豊岡近隣センター	46	37	83	82.61	78.38	80.72	
20 西猿別近隣センター	46	48	94	91.30	95.83	93.62	
21 新和公民館	82	74	156	84.15	90.54	87.18	
22 南勢近隣センター	58	72	130	96.55	98.61	97.69	
23 糠内公民館	180	191	371	93.89	92.15	92.99	
24 明倫近隣センター	62	70	132	95.16	94.29	94.70	
25 美川小学校	60	55	115	93.33	96.36	94.78	
26 中里近隣センター	63	65	128	93.65	92.31	92.97	
27 駒島公民館	142	144	286	96.48	90.28	93.36	
計	6,699	7,188	13,887	83.82	83.39	83.60	

## 日曜当番スタンド

幕別地区 十一月三日・農協スタンド  
 札内地区 十一月三日・農協スタンド  
 四日・堂前石油 十一月一日・幕別トラック 十八日・那須石油 二十三日・笹井石油 二十五日・幕別興業 十二月二日・農協スタンド  
 四日・ツバメ石油 十一月一日・宗岡石油 十八日・杉本石油 二十三日・山崎石油 二十五日・三ツ輪石油 十二月二日・坂本石油

# 近隣センターの

相川には「担い手会館」が完成

## 有効的利用を



▲豊岡近隣センター

住みよい町づくりを進めるにはまず地域からといわれます。地域のコミュニケーションと自治活動がより活発になり皆さんの声が町政に結びつくことが必要です。



▲相川担い手会館

町では、地域のコミュニケーションの場として各地に近隣センター建設を計画的に行ない、昭和五十三年度まで二十一カ所に建設してきました。昭和五十四年度では、豊岡地区と西和・依田地区の二カ所に、また、近隣センターとは名称は違いますが相川地区に「相川担い手会館」を建設しました。

このように町内各地に公民館以外の集会所を数多く建設しているのは十勝管内でも他に例がありません。しかし、恵まれた施設がありませんが、あまり利用されていないようです。また備え付けの備品の管理が地域によってあまりよくされていないところが見うけられます。近隣センターは皆さんのものです。地域で有効な利用を考えてください。

### 下

あかしや学級の子供たち

ちは全員が中度以上（最重度とさえよばれている子供もいます）の肢体不自由児です。体が思うように動かない、言葉が思うようにしゃべれないといったもどかしさを、ほとんどの子が抱いています。感情は障害のない子供たちと同様なのですから、自分の思いを表現できない、示せない、実行できない悔しさはひとしおだと思います。

つい最近のことで、卒業アルバムをつくるために、六年生三名に「これからどんなことをしたいか、どんな風になりたいか」という質問をすることにしました。話せない、歩けない重度の障害児に、こういった将来の夢のようなものを語らせるといことが、どんなにつらいことか、私にもわかりにくいわけではありません。出来ることなら、こんな質問はしたくないと思いつつも、私は恐るおそる三人にたずねました。するとまるで屈託なく、それぞれ次のような答えが返ってきた。私は思わず胸が熱くなったものでした。

A 「もし歩ける

## 重い障害をもつ子の教育 ささやかな健康な夢

白人小学校 山本宮子

ようになったら歌手になりたい。私の夢の夢なの。歌を歌うのが、とても上手な子です。

B 「たくさん友達と話したり遊んだりしてみたい。ほとんど寝たつきの状態に近い、お話しのできない子です。お母さんがその子の心中を察して代弁してくれました。

C 「もし、しゃべれるようになったら、たくさんたくさんお話しをしたい。自分では一生懸命しゃべろうとするのですが、なかなかその声が入りにわかる言葉にならずに出てこない子です。

子供たちは、私の心配—寂しい顔をするのではないかと、答えることをためらうのではないかと—などまるで知らずに、むしろさわやかに、明るく張り切って自分の夢や希望を話してくれました。

体は不自由でも、その精神、心は実に健康なのだと思いつけられ心うたれました。この子供たちの夢や希望をこわすことないよう、まわりの大人たちが、しっかり支えてやらねばならないと思います。

しかし、子供たちが学校教育を受ける期間は短かく、その夢を実現させるには、あまりに短かすぎる学校生活です。障害のないバス学習でお母さんと一緒に岩内仙峡へ

子供たちのような早い成長の過程をたどれる子供たちではありません。ゆっくりと確実に一歩一歩成長してゆくのが障害児であり、事実、あかしや学級の子供たちも、歩みは遅いのですが、確かに成長を続けています。

子供たちが語った夢や希望は決してせいたくなものではないでしょう。むしろ、ほんのささやかな夢ではないかと思うのです。そんな、ささやかだけれど子供たちにとっては精一杯の夢を少しでも実現させてやるために、せめて教育の機会がもっと長く（例えば高校や大学で学べるような）与えられればと願ってやまないのです。



春から完成がまち望ま  
れていました「ふるさと  
館」が十月七日オープン

しました。オープンに先だちテーブカッ  
トが行なわれ、大石町長と早くから開館  
を待っていたお年寄りと子供の代表が、  
テーブにハサミを入れ祝いました。この  
日は、無料開放とあって町内外から七千  
六百人あまりの人が訪れました。

「ふるさと館」の目玉は、何んと言っ  
ても一対のものサケが泳ぐ八角形のミ  
ニ水族館です。勇壮に泳ぐサケをガ  
ラス越しに見て歓声をあげるチビッコ  
たちでいっぱいでした。また、開拓当  
時の大パノラマや農耕に使われた「くわ」  
や「かま」、そして、歴史を語る写真な  
ども多数展示されお年寄りは昔をしのび  
若者たちは科学の進歩を感じていました。  
また、手づくりの「お手玉」や「紙ふ  
うせん」「けん玉」など昔の遊び道具の  
コーナーも設けられお母さんに遊び方を  
教わるチビッコの姿も見られました。

幕別温泉前広場で  
第二回 幕別産業まつり  
は「第二回幕別産業

まつりが催され一万  
人あまりの祭り客で  
にぎわいました。今年、牛乳の消費拡  
大をと農協職員による「牛乳製品の試飲  
会」や町青年団体連絡協議会と消費者協  
会の皆さんによる「宮崎県東郷町・岡山  
市物産展」など新しい催しも加わり昨年  
を上回る人出となりました。

また、新しい郷土芸能として誕生した  
「幕別豊年太鼓」も初めて披露され、力  
強い太鼓の音に集まった人々も聞きほれ  
ていました。

# した10,000人

## ふるさと館オープン

▼人気の的は何んと言ってもサケ君です。



▲「昔は私だって!」とお母さん





▲逃げまわる「こい」を追いかけるチビッコたち



「おいしい牛乳はいかがですか」と牛乳のピーアールをする農協職員▼

▲初めて披露された豊年太鼓



第2回  
幕別産業まつり

# あつまいま

▼「東郷町・岡山市の名産はいかがですかー」



▶「見合って、見合って」



# 感無量の中島さん ご自分の像と対面



## ブロンズ像 除幕式

テル前の建設地で開催されました。中島さんは昭和二十二年の公選第一回幕別町長に当選、戦後の困

町社会福祉協議会へ：  
▼笹島郁夫さん（錦町）から恵まれない子供たちへと一万七千七百八十六円▼岡坂春一さん（相川）から父が生前お世話になりましたと二万円▼矢野誠さん（千住）から父が生前お世話になりましたと十万円▼匿名の方から千円▼篠原登さん（相川南）から父が生前お世話になりましたと十万円▼紺野重さん（猿別）から全快祝いを廃止して五万円▼牧

前町長・

中島国男さんのブロンズ像除幕式が十月十二日午前十時三十分から幕別温泉ホ

難な時代から昭和五十年に任期満了で勇退するまでの七期二十八日間、幕別町発展のためにつくり、昭和五十一年四月には勲五等双光旭日章を授与され、また、この年の十一月三日（文化の日）に幕別町名養町の称号が贈られています。中島さんのブロンズ像建立は昨年有志間に盛りあがりを見せ、期成会を結成、山田栄さんが期成会長に就任し全町民に呼びかけ

田健治さん（明倫）から祖母が生前お世話になりましたと二万円▼服部貞美さん（緑町）から父が生前お世話になりましたと三万円

## 篤志寄付者のお名前

▼匿名の方から今月もわずかですがと千円▼水川潔さん（本町）から結婚を記念して一万五百円▼春日婦人同好会から不用品交換

## 境内を憩いの場に

### 古書の発見から盛り上がる

### 白人神社

多くの浄財をもとに建立したものです。なお、除幕式には地元および道

内外から約三百人の方々が参加し、また、ご自分の像と対面した中島さんは、感無量の面もちでした。

白人神社の創立由来は、今まで古老の語り伝え以外にありませんでしたが、このほど、古老の語り伝えを裏づける書類が発見され、また、白人神社が千住地区の中心に位置しているため、神社境内を憩いの場、研修の場にしようと計画がすすめられています。

白人神社の由来その他を証明する書類が発見されたのは千住の松浦武さん宅。松浦さんのお父さんが白人神社の役員をしていたとき保管した書類が、そのままになっていたのではないかとみられています。

会の益金二千五百円

▼山田収二さんから宝町老人クラブへ二万円▼岡坂春一さんから幕別老人クラブ、相川南老友会へそれぞれ一万円▼山崎外次郎さんから糠内老人クラブへ三万円▼広野ナツヨさんから糠内老人クラブへ三万円▼粟野一二三さんから糠内老人クラブへ三万円▼山田収二さんから老人クラブ連合会へ二万円▼磯部なみさんから米寿を記念して白人神弓会、特養

ますが、同時に発見された書類によると、神社敷地千五百三十坪がまだ登記されていないこともわかりました。

白人神社の境内には、樹齢二百年以上のイタヤカエデなど無数の自然木があり、この自然を地区の共有財産とし、憩いの場、研修の場とするため、現在、総代表の黒島通さんが中心になって、当時の所有者三人の子孫と接触をつけています。

なお、今年には社務所兼研修所を建設したほか、ソフトボールやア

札内寮へそれぞれ一万円▼村田茂実さんから幕別老人クラブへ一万円  
幕別町へ：  
▼下田政導さん（南勢）から恵まれない人にと五十万円  
図書寄付：  
▼林紋子さん（あかしや）から百十三冊▼札内商工青年部から七万円相当の図書を▼砂田新作さんから児童図書四十九冊を糠内小学校へ。

## 役場人事異動（十日付）

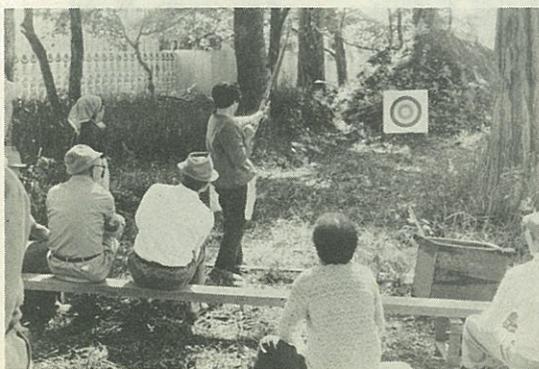
- 〔係長職〕
- ▽総務部札内支所住民係長（総務部民生課保健係）本保武
- ▽総務部民生課年金係長（教育委員会社会教育課社会教育係長）本保喜秀
- ▽総務部民生課付（総務部民生課年金係長）田中久世

- 〔係職〕
- ▽総務部民生課保健係（総務部税務課納税係）浅田輝善
- ▽総務部税務課納税係（総務部民生課住民係）水川潔

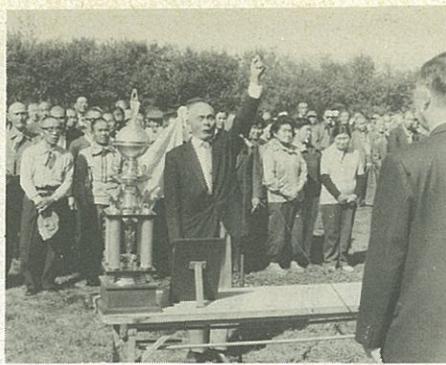
- 〔教育委員会部局〕
- ▽社会教育課社会教育係長（教育委員会教育係）金曾勇一

イチエリーが楽しめるよう整備をすすめています。

境内でアーチエリーを楽しむお年寄りの皆さん



全町老人スポーツ大会が10月5日町営グラウンドにおいて行なわれ 500人が参加、団体では西幕別が優勝しました。



老人のアーチェリー大会が10月3日帯広のアーチェリー場に30名が参加して開かれました。

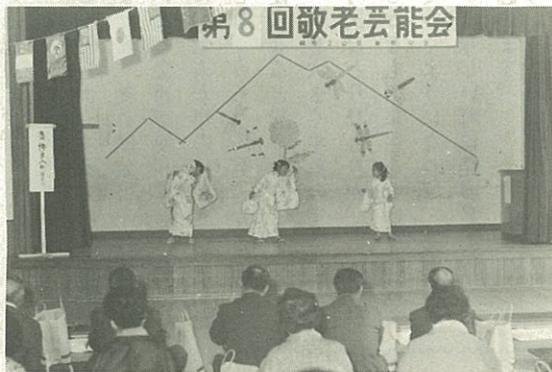
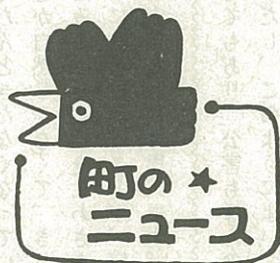


桂町公区の第四回運動会が九月三十日札内中学校グラウンドで行なわれました。

春日町公区の第八回運動会が九月三十日白人小学校グラウンドで行なわれました。



青葉第一公区ではことし公区発足10周年をむかえましたが、これを祝い10月7日札内スポーツセンターで記念式典を行いました。また、これに合わせて公区旗がつくられ披露されました。



緑町第2公区と新町公区合同の第8回敬老会が10月10日緑町青少年会館で行なわれ、豚汁と演芸の数々で楽しい一刻をすごしました。

サケ・マスと物故者の慰霊祭が9月24日幕別側の千代田えん堤で行なわれました。



# 火の元にご注意

本格的な冬將軍の到来を前に皆さんのご家庭では、暖房器具の取り付けも終り、すでに使用を初めているご家庭もあります。が、暖房器具の点検、修理はお済みですか。暖房器具の使用には十分心がけ、ちよつとした不注意から火災を起さぬようみんな注意しましょう。

## 北王コンサルタ ントに紺授褒状

旭町にある北王コンサルタン株式会社（代表取締役・藤原寿美氏）より町に同社帯広支店開設のお祝いとして百万円の寄付があり、これに対する紺授褒状伝達式が十月八日町長室において行なわれました。



途別小学校五年



私たちの住んでいる所、それはきれいな町と言えるでしょうか。大半の人達が、自然と言うことをあまり知っていないようです。

住みよい町、幕別町にするために、これからみんなが努力していくなくてはならないことが沢山あります。その中でも、人間どうしの中では、もっとも大切な心のふれあいです。

この前、私が学校に行く時に一度もあつたことのないおじさんに「おはよう」と声をかけられました。私は、つい「おはようございます」といってしまいました。この時、はじめは「へんなおじさんだな」と思いました。でも、知らない人でも、ことばをかわしあうことは、とても大切だと思いました。ですが、町民全員が、このようだとすることはできません。それはある団地が、近所つきあいなど

いて行く時があります。あの小さな札内の町でも、心ない人たちのタバコのすいがらやガムのかみずて、紙くずなどが落ちています。私は「とてもきたないなあ」と思いますが、でもみんなが見ている前で拾うのは、勇気のいることだと思います。一人、一人が気を付けて、よごさないようにしたいと思います。

いくら、りっぱな家に入っても

あまりないと言うことだからです。

今まで書いたように、町民の一部分は知らなくても話しかけていき、一部分は、すぐとなりでも、つきあいなど、まったくないといつていいほど、ということは、やはり幕別は人づきあいが悪い方だ

札内南小学校六年



と思います。

みんなが、よいことへ心がけ、よくないことは注意しあうことも町をよくするための一つの方法だと思えます。

また、今の幕別町には、緑や公園などあるし、道路には草、木な

ても周りがきたなかつたら、何んにもならないと思います。美しい住みよい町でも、一度こわしてしまつた自然を美しくきれいにするには、町のみんなの力が必要だと思います。

だんだんときたなくなつていくことが自然じゃなくて、きれいなすみきつた自然をこわさないように気を付けることが、何よりも大切だと私は思います。

ど植えてもあり、公害もほんのわずかだし、このようによいこともあるのだから、よいことをもっともつとひろめて行けばよいと思えます。

また、町を大きくするのは、この町をよくする方法だと思いません。それは公害や自然はか

に、老人が車のいききにまどわされ、うろろし、かえつて不便になると思うからです。町を大きくするのはなく、町民ひとりひとりが、もつとみじかなものに目をむけて改善していくようになれば、幕別町はすばらしい町に発展して行くと思えます。

幕別中学校二年



私の町、幕別は、若山牧ななどの歌人も訪れたことのある自然に恵まれた、温泉のある、大変に緑の多い町です。

地形的には帯広市の東方に位置し、主な産業は農畜産業ですが、古くから新田ベニヤ工場などの全国的に名の知られた工場や、コンクリート工場などが、道路の整備のためや立派な建材として生産されています。

幕別町の良いところは、第一に自然に恵まれていることです。空は青く、とてもすんでいます。

公害などの問題もなく、とても住みよい町ですが、この自然をいつまでも大切にして、私達も小さなところから環境の整備を一つ、一つ充実したものにしていきたいと思えます。

付近のことといえば平和通りのことですが、車道、自転車道歩道の三つに分かれており、その間には木々が植えられています。しかし更にこの幕別町を住みよくするために努力しなければなりません。

その一つは、危険な場所を直してほしいということです。それは古井戸の板がくさつていてそこに小学校一年生の子が落ちてしまったという悲しい事故があつたからです。二度とこのような悲惨な事故を起こさないために、他の危険な場所も改善してほしいものです。

二つめは、道路が汚れているということです。よく歩道にいろいろなゴミが落ちてくるのを見ます。幕別町を美しい町にするためには私達が自から注意していかなければならないことです。一人一人がゴミを落さないように心がければ、きっと美しい町になると思えます。

三つめには、緑をこわさないでほしいということです。せっかく植えられた木が折られていくことが見られます。住みよい町にするために、公共物や公共のし設を、もっともつと大切にしていかななくてはなりません。そんな意味でのポスターも必要だと思えます。

私達のたつた一つの郷里を、安心して住める素晴らしい町にするために、私達の手で何ができるのか、よく考えて、みんなが努力していきたいと思えます。